

Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除く REIT）に最高位評価で選定

IDEC 株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役会長兼社長：船木俊之）は、世界最大級の年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が2023年から新たに採用している、「Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除く REIT）」の構成銘柄に、5段階の中で最高位評価となる「グループ1」として選定されました。

本指数は、投資調査および投資管理サービスを提供する Morningstar 社（米国）が提供するジェンダー・ダイバーシティ指数のひとつで、Equileap 社（オランダ）が提供するデータと評価手法を活用し、確立されたジェンダー・ダイバーシティ・ポリシーが企業文化として浸透している企業、および、ジェンダーに関係なく従業員に対し平等な機会を約束している企業に重点をおいた投資が可能になるよう設計されたものです。

IDEC グループの ESG への取り組み強化と、非財務情報をはじめとする開示の充実などが評価されたものと考えております。



Japan ex-REIT Gender Diversity
Tilt Index

TOP CONSTITUENT 2024

なお、現在当社が構成銘柄として選定されている指数は以下の通りです。

- Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除く REIT）
- FTSE Blossom Japan Sector Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- JPX 日経中小型株指数
- S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数
- SOMPO サステナビリティ・インデックス

<https://jp.idec.com/idec-jp/ja/JPY/sustainability/evaluation>

■ IDEC グループのサステナビリティへの取り組み

IDEC では、2009 年から国連グローバル・コンパクトに加盟し、10 原則に基づいた活動を推進しており、2018 年 4 月には CSR 委員会を立ち上げ、環境（E）、社会（S）、ガバナンス（G）、そして IDEC の強みである安全（Sa）と品質（Q）を重点分野と定め、継続的な活動を行っております。

以下の4つをマテリアリティとし、気候変動の対応や人的資本、ガバナンスの一層の強化を図るとともに、中期経営計画では、4 つの基本戦略の1つとして「ESG の取り組み強化」を推進しております。

【マテリアリティ】

1. 制御技術を活用した生産性向上
2. 安全・安心および健康で豊かな生活の追究・実現
3. 気候変動への対応
4. 価値創造を促進する経営構造の整備、組織風土の醸成および人材の育成

■ IDEC のサステナビリティ活動：<https://jp.idec.com/idec-jp/ja/JPY/sustainability>

■ 統合報告書「IDEC Report 2023」：<https://jp.idec.com/idec-jp/ja/JPY/media/IDECReport2023JP.pdf>

このリリースに関するお問い合わせ

IDEC 株式会社 経営戦略企画部 コーポレートコミュニケーション担当 元山理映子
(TEL) 06-6398-2505 (Email) rieko.motoyama@idec.com